

地方行政サービス改革の取組状況等(令和4年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
082341	茨城県	鉾田市	都市 I-O

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.4%
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.2%
案内・受付			75.0%	86.3%
電話交換			94.1%	90.2%
公用車運転			93.5%	87.6%
し尿収集			100.0%	98.1%
一般ごみ収集			100.0%	97.2%
学校給食(調理)			91.2%	73.2%
学校給食(運搬)			97.1%	91.0%
学校用務員事務			13.6%	38.2%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			96.8%	97.2%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.2%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.8%
ホームページ作成・運営			96.9%	98.1%
調査・集計			93.5%	96.2%

※令和4年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置		窓口業務の民間委託	
設置状況	設置予定無し	委託状況	委託予定無し
BPRの手法を用いた業務分析		【参考】	
取組状況		類似団体	全国(市区町村分)
		総合窓口設置率	委託率
		22.9%	48.6%
		総合窓口設置率	委託率
		15.3%	28.8%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務				【参考】	
実施予定無し	委託予定無し	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	類似団体	
										実施率	委託率
										40.0%	2.9%
										全国(市区町村分)	
										実施率	委託率
										35.7%	3.5%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村)導入率
体育館	3	0	0.0%	常駐職員を配置しない他、非常勤・臨時職員での対応により、運営経費の削減が図られているため、導入効果が期待できない。	2	常勤職員を配置しない他、非常勤・臨時職員での対応により、運営経費を削減している。	34.4%	40.8%
競技場(野球場、テニスコート等)	5	0	0.0%	常駐職員を配置しない他、非常勤・臨時職員での対応により、運営経費の削減が図られているため、導入効果が期待できない。	3	常勤職員を配置しない他、非常勤・臨時職員での対応により、運営経費を削減している。	40.2%	49.2%
プール	0	0			0		45.6%	52.6%
海水浴場	1	0	0.0%	海水浴シーズンの短期間の運営となるため、直営(委託等)での対応が望ましいと考えられている。	1	海水浴シーズンの短期間の運営となるため、直営(委託等)での対応が望ましいと考えられている。	21.4%	13.5%
宿泊休養施設(ホテル、国民宿舎等)	0	0			0		87.9%	84.8%
休養施設(公園広場、海山の客等)	2	2	100.0%		0		71.7%	75.4%
キャンプ場等	0	0			0		60.5%	59.7%
産業情報提供施設	3	1	33.3%	導入していない施設については、指定管理による経費削減の効果が期待できないため。	0	0	77.8%	74.9%
展示場施設、見本市施設	1	0	0.0%	文化財という貴重品、重要品を預かるため、民間への委託は慎重にならざるを得ないため。	1	文化財という貴重品、重要品を預かるため、民間への委託は慎重にならざるを得ないため。	62.5%	65.7%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	43.0%
大規模公園	0	0			0		14.0%	44.6%
公営住宅	1	0	0.0%	施設規模が小さいため、導入効果が期待できない。	0		7.9%	16.5%
駐車場	2	0	0.0%	利用料無料化に伴い常駐職員を配置する必要がないため。	0		22.4%	36.8%
大規模公園、畜場等	0	0			0		2.9%	23.3%
図書館	1	0	0.0%	施設規模が小さいため、導入効果が期待できない。	1	職員の約6割を会計年度任用職員とすることで、運営経費を削減している。	19.4%	21.2%
博物館(博物館、史跡、考古館、動物園等)	0	0			0		22.1%	28.6%
公民館、市民会館	3	0	0.0%	社会教育活動は、事業収益を見込めない事業と考える。非常勤・臨時職員での対応により、運営経費の削減が図られているため、導入効果が期待できない。	2	正規職員他、臨時・非常勤職員を常駐させ運営費の削減に努めているが、その他にも運営費削減につながる方法があれば検討したい。	25.3%	23.6%
文化会館	0	0			0		28.1%	52.1%
合宿所、研修所等(青少年の健全育成)	0	0			0		36.4%	49.8%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	75.6%
介護支援センター	0	0			0		47.4%	47.9%
福祉・保健センター	7	4	57.1%	未導入施設は保健センター(3か所)であり、施設の性質上、市が直営で運営すべき施設である。	3	施設の性質上、市が直営で運営すべき施設である。	42.1%	52.9%
児童クラブ、児童館等	2	0	0.0%	指定管理でなく、民間委託としている。	0		26.1%	24.0%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	タイプ		【参考】
		自治体クラウド		実施率(類似団体)
		単独クラウド	○	自治体クラウド
				54.3%
				単独クラウド
				91.4%
				全国
				自治体クラウド
				46.5%
				単独クラウド
				53.5%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定		策定予定時期
【参考】				
類似団体	全国(市区町村分)			
策定割合	策定割合			
100.0%	99.9%			

(7)地方公会計の整備

作成済	○	作成予定		作成完了予定年度	0
【参考】					
類似団体	全国(市区町村分)				
作成割合	作成割合				
91.4%	91.4%				

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体